

最上町民各位

令和6年9月12日

「町制施行70周年記念 陸羽東線 風っこ号で行く松島の旅」中止のお知らせ

最上町長 高橋 重美

最上駅管理委託会社

(株)まちプランニングもがみ

代表 大石 紳一郎

初秋の候、最上町民の皆様には、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。また、日頃から、最上駅をご愛顧いただき、有難く厚く御礼申し上げます。また、このたびの豪雨災害により、町内各所も甚大な被害を被りました。被害に遭われました皆様に、改めましてお見舞い申し上げます。

さて、10月20日に標記記念列車の運行を決定し、町民の皆様にご告知させていただいておりましたが、豪雨災害により陸羽東線もかなりの被害状況であることが判明し（裏面参照）、今後ひと月程度では到底復旧がかなわないことが明らかになりました。また、JR東日本からも、陸羽東線については、現在調査段階であり、今後の復旧の日程等については未定と発表されております。

そこで、このたびの記念列車の運行を一旦白紙とさせていただくことといたしました。告知させていただいてから、各所からお問合せをいただき、参加の意思表示を多数いただいておりますだけに、大変心苦しく、残念でもありますが、上記事情をお汲み取りいただき、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

8月末に、陸羽東線早期復旧の署名活動を始めさせていただきました。すでにご署名をいただきました皆様には、心より御礼申し上げます。皆様から頂きましたご署名につきましては、(株)東日本旅客会社東北本部長宛に提出予定ですが、現在宮城県の陸羽東線沿線の方々も署名活動を開始しており、今後、新庄市や舟形町の皆様にも署名活動に取り組んでいただくよう働きかけてまいります。皆様の声が、必ずや早期の復旧の力となりますことを信じて、活動してまいりたいと存じます。

このたびの災害により、地域における鉄道の役割を改めて考える機会となりました。日常生活の足としてばかりでなく、観光面でのポテンシャルは、光の当て方によっては、かなり大きなものになると思います。また、今年5月に陸羽東線存続を目的に「りくとうサポーターズ」を立ち上がったことで、沿線自治体の結びつきができました。今後、沿線自治体の相互交流を活発にし、陸羽東線沿線地域に元気があふれるような仕掛けを考えてまいりますので、今後の陸羽東線に期待していただきたいと存じます。

暦上は秋となりましたが、残暑厳しい日が続きます。町民の皆様にはご自愛いただき、健康に過ごされますことをご祈念申し上げ、町民号運航中止のご案内とさせていただきます。

【問い合わせ先】総務企画課まちづくり推進室 43-2261（直通） ・ 最上駅 29-8822

【別紙】 ■2024年7月の大雨に伴う被害

